



小林しげき活動レポート



vol.215 「参院選をいかに戦うか」

通常国会が終わり、いよいよ参議院選挙にまっしぐらです。昨年の衆議院総選挙では自民党が大敗、自公は少数与党となり難しい政権運営を余儀なくされています。果たして7月20日投開票の選挙でV字回復するのか、依然厳しい結果で底を這うのか、大事な選挙です。石破総理は勝敗ラインを「自公で50議席」としています。自民党の政権公約を世に示し、何とか勝ち抜きたいところです。

私が政治の道に進んでから経験した参院選については2007年（松井正剛候補）、2010年（山田衆三候補）と連敗した後、2013、2016、2019、2022年とお陰様で4連勝してきました。堀井巖議員と佐藤啓議員です。昨秋の敗因は自民党派閥に関する「政治とカネ」でした。先月の都議選では投票者の60%が政治とカネ問題を考慮したと答えています。参院選では国民に希望を与える将来ビジョンを生み出さねばならないと考えます。

再び都議選に触れますが、自民党が減らした議席は都民ファーストに移動したと見ることもできます。どちらも基本的には保守です。国内外の情勢が不安定な今、実績のない革新政党に期待はされないと推察します。コメ問題を含む農業政策、少子化を解決する地方創生、トランプ関税問題の解決、東アジアの安全保障などは難題ですが、我々自民党は省庁と連携し必ず結果を出します。私は今国会、予算委員会の委員として石破総理の国会答弁を全て聴いてきました。かつて大臣を務めた防衛や農林分野に関しては歴史的経緯に触れながら的確に答えておられます。ただし経済政策についてはあまりに財務省寄りの答弁が多かったと思います。個人の所得増、あるいは負担減についてはすでいくつかの改正もなされています。来る参院選で打ち出して参ります。

決して進む道を間違ってはならないのが「外交と防衛」です。自民党が守り続けた良識を参院選で示して参ります。



京奈和自動車道の現地視察を行いました。住民の皆さまの生活や経済活動を支える重要なインフラとして、早期整備・利便性向上に向けた取り組みを引き続き進めてまいります。



生駒市にある木質バイオマス発電所「北田原発電所」を視察しました。今年4月1日から商業運転が開始されており、木くずや間伐材、剪定枝、さらには風水害で被害を受けた樹木などが、大東市の都市樹木再生センターに送られ、様々な形で資源として再利用されています。



令和8年度の世界遺産登録を目指す明日香村を視察しました。古代から受け継がれる貴重な歴史遺産を、未来にしっかりとつないでいけるよう、国としても引き続き支援してまいります。

小林しげきってどんな人??? SNS発信中! ぜひご登録をお願いします!

~Profile~

昭和39年10月9日生。奈良県奈良市出身
 奈良市立平城小学校、登美ヶ丘中学校
 清風高等学校、慶應義塾大学法学部卒業
 平成6年 三和住宅(株)入社
 平成14年 奈良青年会議所理事長
 平成23年 奈良県議会議員 2期目当選
 平成23年 自由民主党奈良県第一選挙区支部長
 平成24年 衆議院議員 初当選
 令和2年 国土交通大臣政務官
 令和4年 環境副大臣兼内閣府副大臣
 令和6年 衆議院議員 4期目当選
 令和6年 自由民主党選挙対策副委員長



日々、活動をアツク
 しています。QRコ
 ードからぜひ見に来
 てくださいね!



しげきの時事通信



世界情勢の変動と日本外交

今年は戦後80年、3年後には明治160年を迎えます。これまで、長期化するロシアのプーチン政権と中国の習近平政権、核武装で北朝鮮に続こうとするイランが昭和の大戦後の世界秩序に挑戦してきましたが、同秩序の基本理念をまさかアメリカが内側から破壊しにかかるとは想定外でした。しかし、これは長期的にだんだん進んできたアメリカの衰退と衆愚化の結果なのです。そして、地球温暖化がじわじわと現代文明の持続可能性を揺るがしつつあります。一方、日本は、少子高齢化、東京一極集中、産業と地方の空洞化が一段と進み、民族の生き残りが危ぶまれます。

そこで、もうアメリカには頼れないから、もっとロシアや中国と仲良くすべきだ、今こそ中立化して憲法9条の非武装化の理念を実現するとさだめという声を耳にします。日本はもう危ないから外国に逃げようという声まであります。

今は、国力の涵養の時です。それは多岐にわたり、欧州との連携強化や歴史認識も含まれます。例えば、昭和2年に国際連盟で戦争放棄と世界の非武装化を提唱したソヴィエト外務委員リトヴィノフの罠から目を覚まし、これ以上、同じ筋の政治宣伝に騙されないことです。ロシアの真意は、同じリトヴィノフが、第二次上海事変の後に日中全面戦争に至ったことで、大喜びしたことから判断すべきです。今も世界の注意をウクライナからそらすために、テロリストがユダヤ人を攻撃し、イスラエルが大きな軍事行動に出ました。当時の日本も同じ罠にはまって国際世論の敵となったのです。そして批判的な英米を見限り、勝ち馬に乗るためにナチスに接近しました。今も右往左往すべきではないでしょう。(執筆 近現代史研究「養正舎」)

小林しげき後援会 会員募集中!【後援会入会申込書】

FAX0742-52-8633

お手数ですがご記入の上
 左記までご返信をお願いします。

フリガナ		性別		〒	
おなまえ		男	おところ		
		女	おでんわ		
生年月日	西暦	年	月	日生	E-Mail

※皆様の個人情報は、資料の送付または通信のみに使用いたします。また、E-Mailアドレスは、政治活動および選挙期間中、選挙運動用として使用させていただくこともございます。
 ご本人の承諾なしに第三者への提供はいたしません。



小林しげき後援会事務所

奈良市西大寺小坊町1-6-1F TEL0742-52-6700

e-mail info@shigekikobayashi.net ホームページ<https://www.kobayashi-nara.com/>

☞QRコードからもご入会いただけます! 奈良市・生駒市にお住まいのご友人・ご親戚をぜひご紹介ください。